

事業所名 スウィングキッズ

公表: 令和5年 5月 1日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	5		生活介護の利用者が増えてくると、部屋のスペースが狭くなり、危険が増えてくる可能性が上がってくるかと考えます。→利用定員があるため、現在より利用者数が極端に増えることはありませんが、今後利用希望者が増えれば施設の拡大も検討が必要と思います。
	②	職員の配置数は適切であるか	6	6		スタッフが極端に少なく、利用者一人一人に対して手あつく活動等が出来ないことがありました。→人員の配置基準を下回る日はありませんでしたが、現在の国の配置基準では手あつい支援は難しいのが現状です。出来る限り、手あつい配置を心がけています。
	③	障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	12			
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、利用者の活動に合わせた空間となっているか	11	1		
業 務	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	11	1	1	時間が限られてるとは思いますが、全スタッフでのミーティングの機会があると、PPCAを回す話し合いができるかと考えます。→事業所の運営上全職員参加のミーティングは難しいです。ミーティング方法や伝達手段の工夫をして全職員が参画できるようにしていきたいと考えています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	11	1		

務改善	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10	2		ホームページに「自己評価を公表しました。」と載せられているが、内容、詳細が確認できていない。→ホームページで公表及び、保護者宛に一斉メール等で公表しています。職員への公表も周知したいと思います。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	5	4	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10	2		
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、利用者と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	12			
	⑪	利用者の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	10	2		
	⑫	個別支援計画には、「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から利用者の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	10	2		
	⑬	個別支援計画に沿った支援が行われているか	10	2		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	12			
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10	2		
	⑯	利用者の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画を作成しているか	12			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10	2		体験の利用者の情報が少なく、リスク等について把握しにくい状況が何度かありました。→体験利用は情報収集も兼ねているため、普段を理解している保護者や家族の付き添いを前提としています。事前に情報を得られる場合はできるだけ情報収集を行い、職員に周知したいと思います。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	10	2		
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	12			

	⑳ 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	12			
関係機関や保護者との連携関係機	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその利用者の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	11	1		
	㉒ 関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	12			
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある利用者等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	9	3		
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある利用者等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	10	2		

関 や 保 護 者 と の 連 携	②⑤	移行支援として、関係機関との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	10	2		
	②⑥	他の障害福祉サービス事業所等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	6		
	②⑦	障がいのない利用者と活動する機会があるか	1	7	4	
	②⑧	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	1	10	1	
	②⑨	日頃から利用者の状況を家族等と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	12			
	③⑩	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	6		1	
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③①	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	12			
	③②	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、個別支援計画の同意を得ているか	12			
	③③	定期的に、保護者等からの悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	12			
	③④	家族会等を開催する等により、保護者等同士の連携を支援しているか	3	8	1	コロナ感染対策できていない。→コロナ感染が落ち着いたら、企画したいと思います。
	③⑤	利用者や家族等からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、利用者や家族等に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12			
	③⑥	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を利用者や家族等に対して発信しているか	12			
	③⑦	個人情報の取扱いに十分注意しているか	11	1		
	③⑧	障がいのある利用者や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	12			
	③⑨	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	3	6	

非常時等の対応	④⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	11	1		
	④⑪	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11	1		
	④⑫	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の利用者の状況を確認しているか	12			
	④⑬	食物アレルギーのある利用者について、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	12			
	④⑭	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	12			
	④⑮	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	12			
	④⑯	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、利用者や家族等に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	10	2		

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。